

# 令和2年度 定着支援研修会

## 「第1回 社会人基礎研修」 終了報告

今回の研修は就労経験の浅い方および基礎を繰り返し学びたい方とその雇用先企業の支援担当者に加え、帯広市障がい福祉担当者や特別支援校の教員、更には就労系福祉サービスを利用中の方とその支援担当者、計33名の方にご参加いただきました。

すでに就職している先輩の皆さんと就職を目指している後輩の皆さんが同じ場で学ぶことによって、先輩の皆さんは緊張感を持って研修にのぞみ、後輩の皆さんは講義だけでなく先輩の姿を見て就職に向けた意欲を高める機会になったと思います。また、昨年度の“仕事の魅力発見フェス”のような福祉と企業が一同に介する場として、地域の連携やつながりが活性化されることも期待しています。

当日は新型コロナウイルス感染予防対策の1つとして座学・講義形式での実施といたしました。参加者の名前を読み上げ、自己紹介を含めた自席での挨拶から会が始まり、大多数の方が程よい緊張感を持ちながら参加されていました。



項目	学生 (訓練期間)	社会人
1. 身だしなみ	制服・自分の好み	
2. 人間関係	同級生など横のつながり	
3. 言葉遣い	タメ口	
4. 時間管理	時間が決められている 遅刻しても怒られるだけ	

ビジネスシーンにおける服装や一般常識・マナーといわれるものについては誰もが悩みのところだと思います。“基本的なことだと分かっているけど、今さら聞きづらい”ことを改めて共有しました。伝わりづらい部分等は、実際に社会人と学生（福祉サービス利用期間）という立場による違いを例題にしたことで、参加いただいた皆さんは講義の要所所で大きく頷く姿が見られていました。

一般常識・マナーと言われると“分かりづらいけど、間違えないようにしなきゃいけない”と難しく考えがちですが、今回の研修でお話させていただいたことを普段から気軽に実践していただければと思います。



コロナ禍においてグループワーク形式等を避けた企画でしたが、研修中の短い時間でもご参加いただけた中に顔見知りを見つけて談笑したり、初対面の企業や支援担当者同士でも挨拶や情報交換したりと、他者との交流を持つことが難しい昨今における人と人とのつながりの大切を再認識しました。

今後も新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら、就労中の障がいをお持ちの方や雇用先企業、福祉サービスを利用されている方や支援担当者、関係機関などのニーズに沿った、今だからこそ必要な取り組みを模索して皆様にご提案できればと考えています。今後とも当センターの活動に関心をお寄せいただけるよう、よろしくお願いいたします。

当日はマスク着用や手指消毒に加え、アクリルパネル設置、フェイスシールド使用等、新型コロナウイルス感染予防に努めさせていただきました。

最後になりますが、参加された皆さんにおかれましてもご協力をいただいたこと、この場を借りて感謝いたします。